

1. フェアに接しケアを忘れない

「女性には気を遣ってしまうなあ」

「女性は注意しにくいなあ」



よくこんな声をお聞きしますし、私も同じ女性なのにそう思うことも正直あります。以前は、男女は脳が違うから、接し方を変えることが大切なのだと感じていましたが、これまで多くの女性や、その女性の上司の方々と接してきた中で、気づいたことがありました。

それは、「フェアに接しケアを忘れない」ことが大事だということ。

総合職で入社してきている女性は、自分の能力や結果でしっかり認められたい、間違ったことをしたらちゃんと叱ってほしいと思っています。

どのくらいの女性がそう思っているのかとセミナーで聞いたことがありますが、「ちゃんと厳しく叱って欲しい？」の問いに手をあげた女性は**9割以上**でした。

女性だから、この仕事は無理かな？とか、女性だから厳しく注意したらダメかな？ではなく、任せるべきことは男女関わらず能力にみあって任せ、注意するべきこともしっかり伝える。

一方で、女性には、結婚・妊娠・出産というライフイベントが仕事に大きく影響するという部分や、ホルモンバランスの関係でメンタルにムラが出ること等がありますので、そのあたりを理解し、正しくケアしていくことも必要だと思います。

私は前職で女性の営業パーソン育成を行っていた時、完全に「フェアとケア」がごちゃ混ぜになり、「片山さんは、優しすぎます。もっとハッキリ言って下さい！」とよく言われていました。

(その反動か今は、「片山さんめっちゃ厳しいです…」と言われます笑)

現に育成がすごくお上手だな、周囲から信頼されているなという方に話を聞くと、「男女の違いとか、あまり考えたことないですねー。」がという方がほぼです。

もっとシンプルに、女性と接していくことが大切なんですね。

2.女性を理解すると苦手意識はなくなる

コミュニケーション能力高いなーと思う人は、老若男女関わらず、色々な人と話をする事ができるんだと最近痛感します。

ミヤネ屋の宮根さんとか、さんまさんって本当にすごいですよね（笑）

あの方々の話を聞いていると、相手のことをよく見ているし、人間のことをよく勉強されている。理解しているから、あれだけ誰とでも話ができるのでしょうかね。

そう考えた時、「女性って難しい…」と思う方は、実は女性のことがよく分からないからという場合が多いのではと思います。

（男女が理解しあえないのは、永遠のテーマだとは思いますが…笑）

ですので、

「上にお姉さんがいて小さい頃から女の子の人と接してきた」方や、

「学生時代によく女の子と遊んでいた」方や、

「俺、昔から女性が好きでさー」と公言されている方は（笑）、

女性と接することに免疫があったり肌で感じる部分が備わっているため、特に違和感なく女性の育成をされている方が多いです。

私は前職で、入社してすぐ営業に配属になり、5年半営業畑で育って来ました。

当初私はかなりの人見知りで、経営者の方に営業に行くことが怖くて怖くて、毎日が罰ゲームでした。（おまけに方向音痴で訪問先に辿りつけず…）

また怖くて個性的な経営者の方が多かったので、当時22歳の私は、大げさじゃなく訪問先の会社の前で、よく吐き気をもよおしていました。笑

でも、何十回、何百回と訪問すると「この行動の裏にはこんな思いがあるのだ」「こんな厳しく怖い方だけど、こんな経験をして今があるのだ」ということが分かるようになり、それからは怖さはなくなって、むしろ楽しくお話できるようになり、営業成績も伸びていきました。

苦手だなーという場合は、まずは知る努力が大切ですね。



3. 女性は不確実を確実にしたい

私は、「企業の女性の人材活用」という仕事をしていますが、たくさんの女性と話せば話すほど、「あ、私中身は男だ…」とっててしまいます。。

「とにかくやってみよう！やってみなわからん！」の体育会系タイプの私は、社内でもそういう発言を連発しています。

未知のことにチャレンジするのが好きなタイプのスタッフには、響くことが多いのですが、多くの女性は、不確実な状態で進むことはあまり好きではないと思います。

脳の構造上、男性がいない間「家を守ること」をインプットされてきた女性にとって「**考えられるリスクは事前に回避する**」ことは大切な役割でした。ですので、いきなり未来に向かって進むのではなく、近くにあるリスクに目がいくのは、自然なことなのですね。

私も以前は、「このまま進むと混乱してうまくいかない」とか「ここで絶対につまづいてしまうから」と言われる度に、

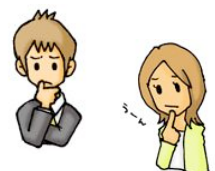
「え、なんでそんなスピードを落とすような発言するの？」「やってみないと分からないのに色々考えてても進まないよ？」など思っていたのですが、

発言を聞いていると、「確かにそのとおり」ということも多いですし、納得感を高めて進まない、結果目標に向かうスピードは遅くなってしまいます。

また、女性は真面目な方が多いですし、「やりたくなくて言っている」のではなく、むしろ「**確実に達成するために、明らかに見えている落とし穴を消して進みたい**」のだと気づきました。

全てをクリアにできなくても、そうやって擦り合せをする過程の中で、納得感を高め、安心して進める状態になったとき、女性はまっすぐに頑張ってくれる。

女性の力をさらに引き出すためには、大切なことですね。



4.言わなくても分かるは一生わからない

彼女「ねえ、私のこと好き？」

彼氏（え、また聞いてくるの？面倒くさいなあ。。）

「そんなの言わなくても分かるだろ」



という会話は、よくカップルの間で行われているようですが、、、

先ほどの、不確実を確実にというところとも繋がりますが、女性はリスクに目がいくので、男性よりも不安になりやすい脳の構造だと言われています。

ですので、「言葉」を通して、不確実を確実にし、安心したい本能があります。それは会社でも同じです。

上司はリーダーになってもらえるよう期待しているし、認めている。

一方で部下は「私はそんなに期待されていない」と感じている。

上司からしたら、「そんなこと言わなくても伝わっているだろう」ですが、家族ですら話さないと分からない中で、ましてや他人ですから、以心伝心はなかなか難しいですね。

当社も、専務が8ヶ月の子供がいて在宅ワークをしているのですが、私は、専務の存在が大切で、周りにもそう言っているし、その気持ちは、専務にも伝わっていると思っていました。

ある時、「ほんとありがとう。専務の存在は本当に私にとってナチュラルリンクにとって、なくてはならないものだよ」と何の気無しに言った時、

「その言葉を聞いて安心した。本当は、育児しながらの状態、みんなに迷惑をかけてお荷物なんじゃないかって思ってたんだよ」と言われて、

「えー！そんなわけないのにー！」ということがありました。

本心が伝わっておらず、食い違い、うまく歯車が回っていないのはよくある話。だからこそ普段から、「ありがとう」「将来こういうこと期待しているよ」と口に出していくことが大切なのです。

5.叱る時はストレート&フォローで

「女性って注意しづらいんです」「叱りにくいです」という上司の方のお悩みをよく聞きます。

男性だったら「そんなことしてたらダメじゃないか！」とガツンと言えるのに、女性には、言えない。その結果、遠まわしに伝えるので結局伝わらない。。

私もやはり気を遣います。（といいつつ結構ズバズバ言いますが笑）

成長欲や向上心の高い女性ほど、本当に自分のことを叱ってくれる人を求めています。逆にほめられてばかりだと、「この人は本当に私のことをちゃんとわかっているのかなあ。」という気持ちが高まってしまいます。

またきっちり叱らないでいると、部下の中には無意識に、

「あ、この上司のもとでは別に何してもいいんだ」「ちょっとくらいこうしたっていいかな」という気持ちが生まれてしまうので、チームの空気そのものが乱れてしまうこともよくあります。

ですので、「この上司は何かあったらちゃんと叱る人なのだ」という縦のラインを意識させていくことは、女性が多い職場ほど大切になります。

とはいえ、難しいのは叱り方。基本的には特にテクニックを考えるよりも、この人の成長のためなんだ、と言い聞かせて伝えたら、必ず伝わると思いますが、

ポイントは、「**ストレート&フォロー**」です。

- 何が（どこが）いけないのかシンプルに具体的に伝える
- 次から気をつけようねと明るく送り出す
- 直っていたらすかさず褒める

以下、「**ノットストレート&ノーフォロー**」は避けたいですね。。

- × まわりくどくて何が言いたいのか分からない
- × 2分以上延々叱る
- × 後で気まづくてそっとしておく



6. 自慢話よりも失敗談を話す

「女性の前ではつい、見えをはってしまおうし、特に上司だから、強い自分であらねばと、そういう姿を見せようとしています。」という方がおられました。

また以前の会社でも、上司は強い存在でしたし、「上司の自慢話」はたくさん聞いて来たなと思います（笑）。
立場もありますし、見られ方もあるからそうなるなと思います。

しかし、**自慢話より失敗談を話すほうが、女性からは慕われます。**



私も女性のセミナーでは、過去の失敗体験をたくさん話します。

「昔は人見知りだった」「営業で最初は成果がゼロだった」
「上司とバトルして最初は嫌な部下だった」（あげるとキリないのでこのへんで）

それは「**なんだこの人も普通の人で、私と近い部分があるんだな**」と思ってもらう為で、スタッフからも、「片山さんって外から見たらすごくスムーズにしているように見えるけど、めちゃくちゃ失敗してるんですね！安心しました！」と言われて、多分喜んでいいことなんだと受け取っています（笑）

女性は「**共感**」の生き物なので、共感を感じた瞬間に一気に距離が縮まります。

部下からすると上司はやっぱり話しかけづらいし、自分とは違うんだと思ってしまうものですよね。（特に最近は娘ほど年齢が違ったり、）

そんな上司が、こんな失敗もするんだなとか、こんな経験があって今があるんだと分かると、安心して距離が縮まり、この人なら、私の悩みを解決するヒントがもらえるかもしれないと、相談に来てもらいやすい関係性が築けます。

女性は「**共感**」と「**口コミ**」の生き物。

「僕はすごいんだ」というよりも、
「〇〇さんはこんなこともあったんだって、でも乗り越えて、すごいよね」と女性部下の中で口コミされる人になりたいですね。

7. 女性の情報網は最大限活かす

女性は噂好き、お話好きと言いますが、以前の会社でも給湯室や、お昼休みの女性の皆さんの会話は、勉強になることがたくさんありました。

社内の人間関係の相関図から、誰が最近悩んでいそうだとか、世間ではこういったことが流行っているとか、誰と誰が仲がいいとか、色々な現場の生きた情報があり、

もちろん信じ過ぎるのはよくないですが、参考にするにはすごく大切だと思いますし、**コミュニケーションのきっかけ**にもなりますよね。

以前、後輩の営業の女性を指導していた時なのですが、自分がしんどいことや、悩んでいることをあまり話さず、普段私には、「大丈夫です！」と言う後輩だったので、定期的に、

「〇〇さん、最近しんどそうなんですけど、何があったかご存知ですか？」と周囲の先輩女性に聞くと、「あ、この前お客さんからこんなこと言われたらしいよー。」と教えてもらうことができ、その後後輩をフォローしたりしていました。

社内で勉強会を開こうと思った時にも、

「仕事終わりにこういう勉強会したいのですが、みんなどんな反応すると思いますか？忙しいから難しいですかね？」

と何人かに聞くと、

「みんな朝の方がいいと思う！夜は予定を入れている人が多いけど、朝活なら行きやすいね」と教えてもらい、実際朝に行くと毎回20名以上集まってくれました。

バレンタインシーズン、お客様にチョコ買う時、私はそういうことはよく分からないので、「今どんなチョコが流行っていますか？」と聞くと、「絶対これがいいよー！今話題なんだよー！」と教えてもらい、それを買ってお客様に持って行くと、先方の会社の女性陣にとっても喜ばれて話がうまく進んだりもしました。

「女性はおしゃべりだし噂話が大きくなるし敵わないな」とおっしゃる方も多いですが、**女性のおしゃべりはこの世から絶対になくならない**と思います。

それなら、**女性のおしゃべりを情報網として活かす**ことを考えるほうがいいし、距離を縮めるきっかけにもしていきたいですね。



8.どんな仕事より誰がしている仕事か

以前の会社で営業に配属になった時、最初は成果が全く出ずしんどかったのですが、**私が営業を好きになったのは、トップセールスの先輩Tさんの存在でした。**

いつも楽しそうに仕事をしていて、女性らしさがあって、18時半になったら「お先に失礼しまーす」と退社して、上司や後輩問わずみんなから慕われていて、成果はいつも「トップ」



私の中の営業マンのイメージは「いつもしんどそうに数字に追われている」だったのですが、Tさんを見て、「**営業ってこんな楽しい仕事なんだ!**」と思い、この先輩の行動を全て真似する中で、営業が楽しくなり好きになり、成果も伸びました。またTさんは、周囲のリーダー的な役割を担っている人だったのですが、「**私もリーダーをやりたい!**」と思い、気づけばそういう役割をしていました。

また学生時代になぜその科目を好きになったのかと聞くと「それを教えてくれる先生が好きだったから」と答える割合は男性に比べ女性の方が格段に高いそうです。

女性は、**その仕事そのものよりも、その仕事を行なっている人を見て、やりたいか、やりたくないかを無意識で判断することが多い。**

よくあるのが、「管理職は、やりがいはあるかもしれないけど、上司を見ていると、とてもしんどそうに家族も犠牲しないといけないそうなので、あまりなりたくありません。」という言葉です。

いくら意味のある仕事をしていても、思いがあっても、頑張っている、疲弊している人を見て、あまりそうはなりたいとは思わないですね。

私も日々反省するのが「私大変オーラ」をついつい出してしまうので、いつも楽しそうに仕事をするを一番意識して行なっています。

確かに、大変だし、壁を超えるにはパワーがいるから必死になるけれども、女性は自分の感情に正直なので、やはりいつも楽しそうに、イキイキしていて、そんな人がしている仕事は興味があるし、応援したいしそうになりたい。

自分が楽しんで仕事をしているのか。周りに自分の働き方がどううつっているか。それをたまには振り返るのも大切かも知れませんね。

9.結果だけではなく経緯を話す

男性にとって、「言葉」とは、報告や連絡の手段。

女性にとって、「言葉」とは、相手をよく知るための手段。

男女で言葉の持つ役割は違うと言われています。

男性の場合、必要最低限を伝える形で、言葉が少ないことが多いと思いますが、それが現場の女性からすると、ストレスになっていることも多々あります。

会社では、昨日と今日で決めた内容が変わることもよくあるし、進んでいく中で、方向転換することもあると思います。またそうやって軌道修正するのはとても大切なことだと思っています。

ですがその場合、私も反省ですが、結果のみ伝えて終わることが多いのではないのでしょうか。

男性は「達成すべきゴールや目標」がより具体的に明確になれば前に進みやすいと言われていますが、女性の場合は「なぜそれをするのか、理由や経緯」が明確になれば前に進みやすいと言われています。

先日もこんなことがありました。

チーム体制の話をしていた時、「こういう連携をとって、仕事内容はこんな形で…」と、詳しく分かりやすく伝えつつもでした。

でも、みんなが納得した顔をしていないのは明らかでした。

「何が分からない？」と聞くと、

「**どういう経緯があっただろう？なぜこの形なの？**」ということで、



ここに至った経緯や、お客様からの声や、だからこうしていきたいのだと伝えると、「あーなるほど！見えてきた！ということは、こうした方がいいね」とか、「事前にこういうことが必要だね！」という意見が出てくるようになり、結果よい形でまとまりました。

結果だけではなく、経緯や理由を伝えること。ちょっとしたことですが、私も意識をしていきたいと思っています。

10. 自社のサービスにとことん惚れる

自分の会社に誇りを持つこと。

自分の行なっている仕事は大切だと思えること。

とてもとても大事なことなのだなど今あらためて思います。



前職で研修の営業をしていた時、どうしても売れない研修がありました。半年間のマネジメント研修だったのですが、何がどういいのかよく分からず、ただただしんどそうなイメージしか持つことができず、頑張っても10名しか集客できませんでした。

ですが、私も中堅社員になりその研修を自分も受けてみると、自分の仕事の仕方が改善され、なんと半年間で営業の成績が1.5倍になりました。

「これはすごい！絶対必要な研修だ！」と肌で感じた結果、翌年は40名を超える人数を集客することができました。

また、車のミニのナンバー1セールスの女性の話ですが、その方も最初は全く売れず、これはいけないと思い、自分でミニを買って乗ってみたところ、「何て素敵な車なんだ！これは乗らないと損だ！」と気づき、そこからナンバー1になられたそうです。

男女関わらずだとは思いますが、特に女性の場合は理屈じゃなく、実感することで爆発的なパワーを発揮することができるのだと感じます。

ただ、内勤の女性の方々は、お客様の声に触れたり、生の声を聞く機会が少ないと思うのですが、その方々ほど実感することが大切で、そうなると、電話対応一つ、請求書郵送一つ、変わってくると思います。

「ちょっと高いんじゃないか。。」「売れてるからいいものだろうけど。。」

「いいとは思うけど本当に喜んでもらってるのかな。。」

と思っているうちは、いくら頭ではわかっているけど、爆発的なパワーはでてこないと思います。

どんな会社、どんな仕事も意味があって存在している。

納得して仕事ができるようにしていきたいですね。

1 1.産休復帰者がチームをカバーする

産休から復帰すると、みんなに迷惑がかかる。
会社としても、フルで働けないので仕事を任せられない。
また本社機能や事務職でばかり戻って来られるのもなあ。。



こういう目に見えないものが、産休復帰がスムーズにいかない原因になっていることはよくあると思います。

現在の形としてよくあるのは、**産休復帰者を、チームがカバーする**という形。いつ子供が熱を出すか分からないし、その時は他の人がカバーする。これだと、お互い気を遣いますし、女性も罪悪感が出てしまうので、よほど人間関係やコミュニケーションがうまくいってないとギスギスしてしまいます。

そうではなくて、「**産休復帰者がチームをカバーする**」

営業チームがあって、そこで営業をしてた女性が産休から復帰したとします。子供が熱を出す、急な欠勤を考えると、営業でお客様を訪問するのは難しい。

ただ、営業マンはお客様を訪問する以外に、提案書や企画書づくり、事務処理など、やることがたくさんあり、そこに時間がかかりるので、結果訪問に時間をさけず、成果があがらないことも多々あります。

それなら、営業に専念できるように、**以前の経験を活かして、企画書や提案書作りをサポートする**。それには情報共有が必要ですが、仕事の見える化やコミュニケーションを増やすことに繋がり、チーム全体としての効果は高いとおっしゃる企業様も多いです。

もし子供が熱を出しても、家でできるようにしておけば、そこまで心配する必要もありません。

そうやって、**自分もチームの役に立っているし、チームも産休復帰者がいて助かる形を作ること**。そして目に見えないギスギス感をできるだけクリアにしていけること。制度も大切ですが、ソフト面で体制をつくっていくことも大切ですね。

8.先のことまで考えすぎない

よく、「将来のことを考えると不安です」

「このままでいいのかなー、仕事と家庭を両立したいし、でもハッキリと見えていないので。。」

という話をよく聞きます。

私も、20代半ば、周囲が結婚する姿、母になる姿を見ることが増えだしてから自分の人生についてもんもんと悩む時期に突入しました。

何となく目の前の仕事に集中できず、モチベーションがあがらず。。

でもある時

「**未来は今の積み重ね。今一生懸命頑張らないと、いい未来が来るわけがない**」という言葉に出逢い、はっとしました。

その時からは、先のこと分からないなら、まずは目の前のことを一生懸命がんばろう。頂いたチャンスには120%で応えよう。と、今を積み重ねることに集中すると、だんだんと道がひらけていて、振り返ればそれが、自分のキャリアになっていました。

周りの働くママも、「先ことはどうなるか分からない。私は、仕事も家庭も両立したいと思っていたけど、どうすればできるかなんて分からなかった。それよりも、今できることを一生懸命やって、流れのままに進んでいるうちに、気づけば自分が歩みたい人生を、送っていたよ。」とおっしゃる方が多いです。

もちろん、やりたいこと、なりたいこと、目標が具体的にハッキリしていれば、そこに向かって真っ直ぐ進んでいけばいいと思いますが、

漠然としている場合は、無理にハッキリさせるよりも、**今ここに全力で頑張る方が、なりたい未来をつくる近道**なのかもしれませんね。



7.同僚とのチームワークは大切に

「同僚とのチームワークは大切にすること。女性は、結婚、出産、育児と、プライベートでの転機があるから周りの協力がないと両立できないんだよ。」

働くママが口をそろえておっしゃっていて、すごく納得しました。

また、「**全力で働ける期間に、しっかりと会社に貢献し、この人が出産するなら、私達が協力しようと思ってもらえる人になっておくこと**」

とおっしゃっていることにも、大きく納得しました。

そんな中で、同僚との関係性を大切にするある働くママが意識して行なっているとおっしゃっていたことですが、

①成果を独り占めしない

自分が成果を作った時も、少しでも助けてもらったら、その人にお礼を言うこと

②一生懸命頑張る

あの人はいつも頑張ってるなーと応援されるようになること

③喜び上手になる

何かしてもらったら喜ぶ。またやってあげようと思われるようになる。

④依頼事は笑顔で受ける

困って助けをもとめている時に、笑顔で対応されたら、次はこの人を助けてあげよう！と思うもの。まずは自分からやってあげる。

私もまだまだできていなくて、でも、素敵なしなやかな女性になりたいし、欲張りに人生を歩いていきたいので、その為の下地は、しっかり作っていききたいなと思います。



6.女性の強みは最大限活かす

これは、女を武器にするということではなく、前述したように、共感する力、心配り、親密性、そういったところを存分に活かすことです。

私の周りで、素敵な女性は、女性であることに喜びを感じ、イキイキされています。**女性っていいなと周りと思うような、素敵なオーラ**が出ておられる。

女子大生対象に講演をすると、「女性で損したことはありますか？」とか、「女性だということに困ったことはありますか？」という質問をよく受けるのですが、色々考えてもあまり損したことはなく、むしろ得だと思ったことの方が多いです。

以前の会社で営業をしていた時、女性というだけで、「とりあえず会おうか」とお客様にアポイントをとってもらいやすいと日々感じていました。

先輩の男性営業の方には「成功話」を話されるのに、女性の私が伺うと、悩みや不安や本音の話をしてもらえて「女性って悩みを話しやすいな」と言われたこともありました。

また女性はまめだし、それが素直にできるのは強みだと知りました。

「女性が来てくれると、華やかになるな」と喜んでもらえたり、「女性の視点から見たらどう？」と意見を求められることも多かったですし、**マイナーであることは、逆にすごく貴重がられるのだ**ということも感じました。

今の私の場合も、20代の社長はたくさんいるけれど、女性だということで、取り上げていただいたり、注目してもらえるのはとてもありがたいことです。

前本専務を見ていると、**子供を産んで育てる喜び**ってすごいな、女性にしかできないことなんだな、女性っていいなと素直に思います。

何をとっても、プラスとマイナスがあると思いますが、よくない面を見るのではなく、女性でよかったというところに目を向けると、たくさんラッキーがあることに気づきますよね。

一度きりの人生、楽しくイキイキと過ごしていきたいですね。



5.上司に響く報告の仕方

上司の方も、本当に忙しい。今になってすごくわかります。

私は前職で上司から、話が長いとよく言われていました。特に報告するとき、ちゃんと経緯から丁寧に話そうと思い、「あーで、こーで…」と伝えていると、よく、

「だから、結論は何や!？」と怒られました。

あげくの果てにその後は、「1分で報告しろ。はい、あと55秒…」なんて言われていました(笑)

背景を知らない人にとっては、**結論としてどうだったのか**がまず知りたいことです。特にあまり気持ちがよくない報告の際、それが収束したのか、上司として何か動かないといけないのか、その結果がまず知りたいもの。一から説明されるのは、聞く側にとってはストレスになってしまいます。

ここで、知っておくと得する報告のポイントをいくつか。

①結論→経緯→結論で報告

②完了の報告は忘れずに

依頼された仕事を完了したら、終わりましたと一声かける。相手は、「あれどうなったのかなー」と気になっているもの。

③中間の報告はまめに

依頼された仕事の経緯を報告する。ずれが起きた時修正することもできる。

ただ、部下の立場からしたら、上司にも、

「もっとちゃんと情報を教えてほしい」

「もっと速く仕事を依頼してほしい」など色々あると思います。

そんな場合でも、お互いが気持ちよく受け取れるようにしたいですね。

そんな時の魔法の言葉

「もし可能であれば、〇〇して頂けると嬉しいです。」

皆さんも是非、つかってみてください。



4. 耳の痛い話ほど素直に受け取る

私は昔から、人に指摘されたり注意されるのが嫌でした。

自分で何でも決めたかったし、図星のことを言われといつも反発していました。

ですが前職の大好きな先輩に言われました。

「言われるうちが華だよ。言う方もすごくパワーがいるんだから。何も言われなくなる方が寂しいよ？」・・・確かに！

いつも褒めてくれる人は居心地がいいけど、自分のことを思って、嫌な事を言ってくれる人、憎まれ役の人程、大事にしないとイケないのだなとその時思いました。

私もこの立場になって思いますが、素直に指摘を受け取る人には、

「この子は絶対育ててあげよう」「もっと教えてあげよう」と思います。

反対に、せっかく言っても受け取ってもらえないと、言っても無駄なのかなと思ってしまったり、次から言いにくくなってしまいます。

でも、わかっているけど、やっぱり指摘は受け取りづらい。。

そんな時はどうしたらいいかということですが、感情は変えられないけど、言葉は簡単に変えることができます。

魔法の言葉は「ありがとうございます」

何か言われた時、「もう知ってます」「もうやりました」「でも」「だって」ではなく、「ありがとうございます」というと、不思議とすごく素直にクリアに受け取れますし、相手も気持ちがいいものです。

ちょっとしたことですが、周りといい関係性を築いていけるように、裸の王様にならないためには、心がけていきたいですね。



3.男性とは戦わない

仕事を頑張るのは大切なこと。でも、男性と戦うのはあまりよくないと思います。
周りから応援され、サポートされる愛嬌のある女性になりたいですもんね。

「女性なのに」とか「女性だから」という空気を感じた時、色々言われても、「そうですね。ありがとうございます。」と笑顔でさらりと流している女性を見た時、「かっこいい！！」と鳥肌が立ったことがあります。

また当社の前本専務は、男性を立てるのがすごくうまく、私もスタッフも、側で密かに勉強しています。以前の会社でも、やんちゃな私の上司が唯一頭があがらないのが、前本専務だと言われていました（笑）プライベートでも旦那さんがぐんぐん急成長していかれているので、さすがだなーと思います。

見ていると、

①基本的に話は否定しないし遮らない

違うかなと思っても、最後まで必ず話を聞いています。



②さりげない心配りができる

いつも、寒いから気をつけてくださいねの一言が言えたり、メールでの心遣いも気持ちが温かくなるものが多いです。

③冗談に強くユーモアがある

冗談を真に受けて怒ったりせず、いつも笑って受け流しているので、相手が話かけやすい雰囲気をつくっています。

④相手が受け取りやすいように伝える

困ります！できません！ではなく、自分の要望が相手にきちんと伝わる伝え方をしています。

女を武器にするということではなく、**共感する力、心配り、親密性**、そういったところを存分に活かしているから、周りからも大切にされるのだろうと、彼女を見て勉強になることがたくさんあります。

今の世の中、上司も、お得意先も、男性であることが多いと思うのですが、少しの心がけでお互いが気持ちよい関係性を築けるようにしていきたいですね。
ナチュラルリンクスタッフは、みんな「アゲマン」を目指しています（笑）

2.パンクしそうな時は書きだしてみる

女性はロジカルシンキングが苦手だと言われています。

もう、どうにもこうにも、いっぱいいっぱいになる時ってありますよね。

例えば、

「やることいっぱい仕事まわらないー」

「今日は嫌なことばかり起こるわー」

「いつも余裕を持ったしなやかな女性になりたいのに全然違う。自己嫌悪」とか。



そのたびに、「あー私って駄目だわー。」と自分が嫌になっていきます。

そこから抜け出すことは意外と簡単で、「**事実を書きだすこと**」が大切です。状況を正しく認識することで気持ちを正常に戻すというイメージです。

例えば、「やるが多すぎる！」というときに、紙にやること書きだすと、たいてい5つくらいしかありません。笑。

「あれ、なんだこんなもんか。。」と思うと落ち着いて進めることができます。

また、「嫌な事ばかり起こったー」というとき、**事実と妄想にわけて書きだして**みると、事実は一つで、あとはほぼ妄想であることがおおいです。

アポイントがキャンセルになった。あの時のメールがいけなかったのか、普段から信頼されてないんだ、そういえば前あんなこと言われたな、私のあの態度がだめだったんだ、別の会社を検討して断りづらくなったのかも。。。

(ここまで妄想することはないかもしれませんが笑)

でも、事実は「アポイントをキャンセルされた」で、あとは全て妄想です。

事実、どうしても外せない用事が入っただけで、次にアポイントが取れることも多いと思いますし、自分と会う優先順位を高めてもらうには、もっと別のことをしっかり考えることの方が大切です。

「困った！」と思うけれど、「困ったこと」を「すごく困ったこと」にまで大げさにしているのは他でもない自分自身なのですね。私も、気をつけます ^^

1.上司との関係性を大切にする

何年か前の、韓国のサラリーマン6000人の調査だそうです、

「人事権が自分に与えられたとき、まっさきにクビにしたいのは誰ですか?」という質問に対して、

「直属の上司」と答えた人は47%、「社長」と答えた人が38%、「同僚」9%「後継者、後輩」5%・・・と続きます。

さらに、「あなたは自分の悩みを誰に相談しますか?」という質問に対しては、「親しい友人」と答えた人が46%、「職場の同僚」が24%、「配偶者・恋人」が21%、「職場の上司」はなんとたった4%だったそうです。

この調査結果を総合すると、上司とは「まっさきにいなくなってほしくて、最も頼りにならない存在」ということのように、……

『働き方の教科書』新将命著より引用

==



少し悲しいですね。。

私も以前、上司が嫌いでした。教育方針や、対応や、色々な部分で納得がいかなかったことがよくありましたが、ある時、大好きな先輩から、もっと上司を理解しなさいと怒られました。

「女性には、結婚・出産・育児と様々なライフイベントがある。その時に、ちゃんと仕事と両立できるかどうかは、直属の上司が理解し、応援してくれるかどうか大きな鍵。今の片山さんだと、そんな時協力したいと思わないよ。」

大好きな先輩から言われたので、相当ショックだったのですがそう考えると、「私がこの上司のようにトップと現場の板挟み状態だったら、辛いなー」「社長の怒りがここまで届いてないのは、上司が受けてくれてるんだなー」「それなのに誰からも感謝されず、孤独だろうなー」と、色々なことがわかってきて、もっともっと上司にとって、やりやすい部下になろう!と思いました。

その結果、私が独立する時、円満退社ができるように、大きなお力添えを頂くことができ、今はとても感謝しています。

上司も社長も同じ人間。否定されたら辛いし、認められたら嬉しい。

自分の見方を変えて、気持よく関係性を築いていけるようにしていけると、結果自分に必ず返って来るのですね。